

受付番号	3	受付月日	5月17日
		午前・午後	3時30分

東郷町議会議長

水川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

新東会

議席番号

8

番氏名

加藤達雄

印

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 交通安全について	<p>(1) 今年度の本町「交通安全計画」について</p> <p>ア 本町の当計画は愛知県の示す「第10次交通安全計画」に準ずるものと考えて良いか。</p> <p>イ 安全活動実施計画以外に交通事故件数等本町独自の成果目標は有るか。</p> <p>ウ 愛知県の年間交通事故死者数は155人以下と大変高い目標値に設定されている。本町においても更に深化した交通安全施策の推進が求められるが具体策は何か。</p> <p>エ 例年の交通死亡事故類型一位の、横断歩道中の事故の削減を目的とする、歩行者保護運動「ハンド・アップ運動」が今年新たに加わり毎月11日を「横断歩道の日」と決められた。この運動の周知徹底と安全意識高揚をどの様に進めるのか。</p> <p>(2) 国道153号線北山台5丁目交差点について</p> <p>ア 当交差点において、今年初頭に県下初の交通死亡事故が発生した同所は、4年前の平成27年7月当時1270日続いていた死亡事故ゼロの日が途絶えた所である。警察は、この2件の事故調査・要因分析の結果どのような再発防止策がなされたか。</p> <p>イ 当所は国道153号線と県道520号線（豊田東郷線）が交差する。夕方時には県道から名古屋方面への右折車が列をなし最後尾は諸輪交差点をはるかに超える事も多く、渋滞を避ける車が観音畑地区の生活道路に進入し、静かな生活空間を騒がしくしており、地元から県道の右折帯延伸で渋滞</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>減少化を図り、元の生活環境を取り戻して欲しいとのお声も多い。ここは主要交差点でもあり、もし整備計画があれば教示下さい。</p> <p>(3) 県道233号岩作諸輪線では、朝の通勤渋滞を避けて、木戸畑交差点や諸輪小学校東交差点から町道を通り抜ける車が多く、通学路の安全確保の要求の高まりで、諸輪区は「7-9時指定方向外進行禁止」の規制案地区要望書を愛知警察署に提出した。回答は諸輪区の要望を全て叶うものではなく再検討を余儀無くされた。この事について伺う。</p> <p>ア 回答は、2つの交差点進入規制要望のうち、諸輪小学校東交差点のみ可とし、木戸畑交差点南の規制は不可とするもので、理由は同所3差路が県道と直角交差してない為反対側角のコンビニ駐車場から進入する車両等の規制が難しい等8項目に亘り指摘された。もし片方の規制をすると、相方に車が集中する事も考えられ規制の実施は見送った。今後区民協議を進めながら課題解決を図っていくが、早期に実施するために担当部局からの交通センサスの資料の説明等の他専門的な助言が必要と考えるがどうか。</p> <p>イ 愛知県は、道幅5.5m未満の道路における交通死亡事故の発生抑制が死亡事故半減の鍵を握っていると分析し、「第10次交通安全計画」では、人優先の考えの下、通学路、生活道路の安全な歩行空間の確保が重要と位置付けた。本町は旧地区の対応が特に重要と考えるが、一朝一夕に行かない課題も多くあるが、このあたりの担当部局のお考えを伺います。</p> <p>(4) 先の「大津園児事故」は、昨秋本町も参加した全国市町村交流レガッタ琵琶湖大会開催の「大津漕艇場」隣接交差点での痛ましい事故で、参加者一同心を痛めているところであります。</p> <p>ア 諸輪あやめ保育園の園児達が諸輪交差点を渡り、諸輪公園、北山台5丁目の三角公園等への散歩風景を見かけますが、</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>この交差点で利用する西側横断歩道の西北角の溜まり場は、車の出入りする側道と共用の為ガードレールは無く危険に思う。観音畑地区の小学生の通学路でもあり、ガードレール設置が可能かの検討と、この際町内通学路の主要交差点の溜まり場の安全に特化した緊急安全点検が必要と思いますが見解を伺います。</p> <p>イ 町内の各保育園で、社会勉強を兼ねたお散歩は大切な園外活動であると思えます。各園毎に規定された散歩コースの安全総点検も新たに行なわれると思えますが、実状について伺います。</p> <p>(5) 昨年愛知県では初めて交通事故死者数が200人を切り189人となった。65歳以上の高齢者の関わる事故死も減少しているものの割合は54.5%103人と依然半数以上を占める。高齢者は被害者・加害者両者になり得るなど引き続き事故防止策について、行政、地域、家族による交通安全情報の伝達と、教育が求められる。</p> <p>ア 免許証を持たない方達は安全教育の機会も少なく、自転車、歩行中の事故割合も高い。又老人クラブ未加入者も増え、その対応が重要な課題と思えますが担当部局として効果的な啓発方法はどうか。</p> <p>イ 免許証の自主返納は交通事情の良くない本町は進み難いと言われるが、統計を取られて最近までの状況についてお示し下さい。</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。